

# 公衆回線エミュレータ

TL1200

## 取扱説明書



テクノシステム株式会社

【文書版 V4.03】

# 公衆回線エミュレータ T L 1 2 0 0 取扱説明書

## § 始めに §

この度は弊社の公衆回線エミュレータ T L 1 2 0 0 を御買い上げいただきまして大変ありがとうございます。このエミュレータは N T T 公衆回線を疑似的に机上で実現する 1 回線の交換機です。1 9 9 6 年 N T T が開始したナンバーディスプレイサービス(通信前情報通知サービス)及びキャッチホン(通信中情報通知サービス)の機能を盛り込んであります。先に販売しております、「T L 1 0 0 0 A」の後継機、「T L 1 0 1 0」「T L 4 0 0 0」の姉妹機です。特長として、1 6 桁 2 行の大型 L E D 表示、及びモニタスピーカを装備し、端末機器の試験に便利を図る設計としてあります。交換動作のパラメータを可変にしてあり、P B ダイヤルが発信できる電話機から設定できます。より便利を供するため、P C B 上に拡張のための数種のコネクタ及び R S 2 3 2 端子も装備しました。端末機器の開発や試験環境として、お役に立てば幸甚です。

第 3 版から無鳴動情報通知サービスの機能を追加しました。

これは 2 0 0 1 年から開始される「L モード」に対応する機能です。

第 4 版から 2 0 0 2 年から開始される「ネームディスプレイサービス」の機能を試験するため漢字コード入力の機能を追加しました。

## § 使用上のご注意 §

サービスの仕様が変わっています。それにつれ「T L 1 2 0 0」の仕様も予告なく改版をすることがありますのでご了承下さい。

使用されて、その結果の如何に関わらず、端末装置が電気通信法の技術基準を満足することを保証するものではありません。

運用された結果の影響について責任を負いかねます。

本製品を回線に接続することはできません。

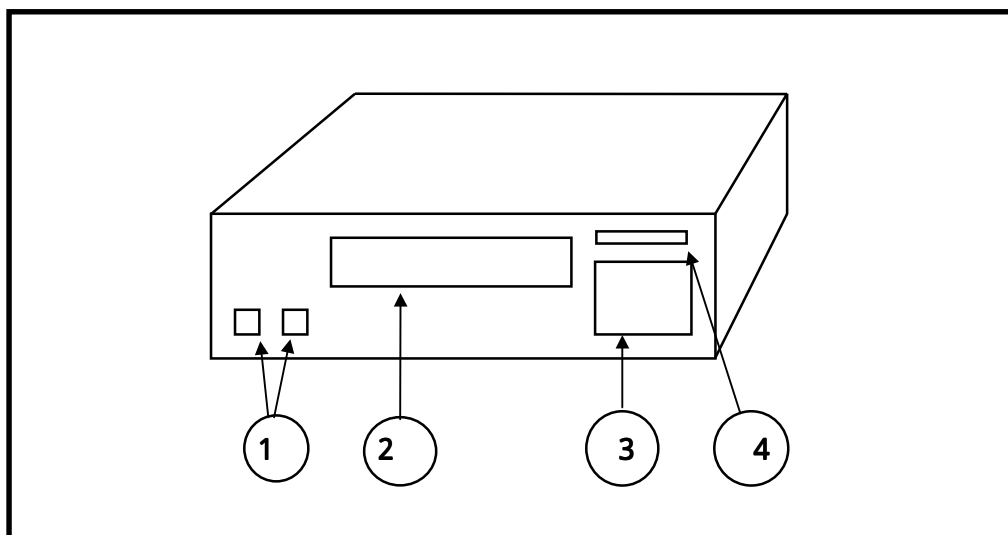
仕様については、日本電信電話(株)の「技術参考資料」、及び「電話網における情報通知系サービスのインターフェイス」を参考にしています。

§ 目次 §

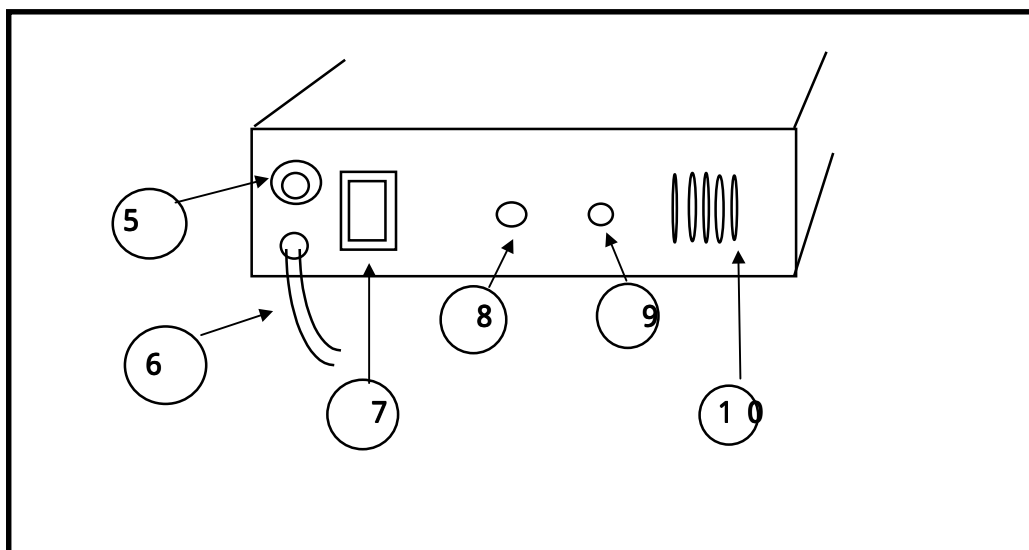
各部の名称と説明	P3
接続	P7
オートモードの操作	P7
手動による信号の出力	P9
パラメータの設定	P9
通信前情報通知サービスについて	P10
無鳴動情報通知サービスについて	P12
発信企業名情報（氏名）通知サービス対応	P13
通信中情報通知サービスについて	P14
各部調整	P15
拡張	P16
仕様および諸元	P18
文字変換コード表	P20
漢字コード入力のための16進変換表	P21
パラメータ一覧表	P22

： 各部の名称と説明

前面の配置



裏面の配置



前面 パネル		
1	端末接続端子	
	LINE 1 LINE 2	<p>端末装置を接続します。</p> <p>オートモードで使用するときにはLINE 1、LINE 2ともに区別はありません。</p> <p>マニュアルモードで使用するとき、LINE 1が発信端末 LINE 2が着信端末となります。</p>
2	表示部	
		<p>受信したダイヤルなどを表示します。</p> <p>16文字2行で、バックライトを点灯しています。</p>
3	手動による信号出力スイッチ	
	AUTO / MAN  DT BT RT  RV1 EXF  CID  PMT	<p>オートモードからマニュアルモードあるいはその逆に切り変えます。マニュアルモードのとき以下のスイッチが有効になります。</p> <p>LINE 1に発信音を出力します。</p> <p>LINE 1に話中音を出力します</p> <p>LINE 2に呼出信号を出力し、LINE 1に呼出音を出力します。</p> <p>LINE 1の電圧の極性を反転します。</p> <p>LINE 1に外部からの信号を出力します (外部からの信号の入力は拡張の項で説明)</p> <p>LINE 1にキャッチホン信号を出力します キャッチホン信号の出力はオートモードでも有効です 動作をパラメータ入力モードに切り替えます。</p>
4	表示	
	IDLE  TONE  RT RV1 RV2	<p>エミュレータがオートモードで、発信を受付可能であるとき点灯します。</p> <p>発信音、話中音、呼出音などの信号を出力している時点灯します。</p> <p>呼出信号の出力時に点灯します。</p> <p>LINE 1の電圧極性が反転しているとき点灯します。</p> <p>LINE 2の電圧極性が反転しているとき点灯します。</p>

裏面		
5	フューズ	1 Aミニフューズを使用しています。
6	電源線	AC100Vに接続してください。
7	電源スイッチ	本装置の電源スイッチ。
8	配線用フリー エントリー	内部の基板から配線を延ばす時、 この穴を利用して下さい。
9	音量調整VR	スピーカの音量調整。
10	モニタ用スピーカ	スピーカがこの位置にあります。

： 接続

LINE 1、LINE 2の端子に端末装置を接続します。

オートモードのときは、LINE 1、LINE 2に区別はありません。

手動による信号出力のときは、LINE 1が発信側、LINE 2が着信側に固定されます。パラメータの入力はLINE 1に接続された端末からのみ入力できます。

モジュラーコネクタのピンは中央の2本が有効で、他は使用していません。

： オートモードの操作

1： 電源オン

裏面、電源スイッチをオンにすると動作を開始します。ディスプレイに全黒点を表示し、LEDを全点灯したのちディスプレイにプログラムのバージョン表示を行います。数秒間の表示ののち、オートモードになります。

2： 内線発信

パラメータ#05（以下P#xxと表記します）が1のとき、LINE 1、もしくはLINE 2から発信すると内線発信音（デフォルトで400hz、250msオンオフ）を出力します。P#06で規定される（デフォルトで1桁）桁数分ダイヤルを受信し、ダイヤル出力を待ちます。

3： ダイヤル受信、相手認識

受信したダイヤルは、ディスプレイに表示されます。桁数は制限ありません。

ただし、P#07が1のとき、受信したダイヤルと相手の個別ダイヤルの比較をします。LINE 1の個別ダイヤルはP#75で設定され、LINE 2の個別ダイヤルはP#76で設定できます。

ダイヤルを受信していて、ダイヤル間の時間間隔がP#13（デフォルトで2秒）経過すると相手を呼出します。

4： 通信前情報通知サービス（ナンバーディスプレイ）

P#30が1のとき、通信前情報通知サービスを実行します。

手順の詳細についてはNTTの参考資料を参照してください。

交換の実行の詳細は別項をご覧ください。

5： 応答及び通話

通信前情報通知サービスが終了、もしくはその機能がオフ（P#30が0）のとき呼出信号と呼出音が送出され、相手が応答すると通話状態となります。

信号の送出やLINE 1、LINE 2の電圧極性の極性の状態はLEDで表現されます。

< 応答信号 >

P#10が0のときは発信者側への応答信号（極性反転）は出力しません。

通話中のダイヤルは逐次ディスプレイに表示されます。通話の音声はモニタスピーカでモニタできます。通信信号はPCB上のアッテネータで減衰できます。

< 課金信号 >

準備中です。

< 通信中情報通知 >

P # 5 9 が 1 設定されている時、押しボタンスイッチ「CID」を押下すると通信中情報通知の信号とデータ（キャッチホン信号）を出力します。

< 外部信号出力 >

準備中です。

## 6 : 終話

どちらかの端末が回線を切ると通話が終了します。

回線を切らない相手側に話中音（BT）を送出しますが、P # 1 1 が 0 のとき話中音の送出行いません。ただしこの機能は終話の時だけで、通信前情報通信などの途中放棄などのときは送じます。

< 切断信号 >

P # 0 8 が 1 の時、発信者側が先にオンフックしたときは着信者側に切断信号を出力します。切断信号の反転時間は P # 0 9 で設定できます。

< ご注意 >

製品出荷時の設定で P# 3 0（通信前情報通知サービス）は「1」になっています。

そのまま使用されますと、通信前情報通信のシーケンスでの呼出信号を出力します。

通信前情報通信に対応していない端末では不自然な動作となります。

そのときは P# 3 0 を「0」にし、かつ P# 0 1（電源立上時に設定をクリアする）を「0」

とし電池ケースに単三電池を入れてください。



**: 手動による信号出力**

AUTO/MAN 切り替え押しボタンを押すとマニュアルモードになりディスプレイに「Manual mode」を表示し、IDLE のLED が滅灯します。

PMT 以外の押しボタンで任意に信号を出力することができます。

DT,BT,RBT,EXF,RV1 はLINE 1 に送出し、呼出信号はLINE 2 に送じます。

CID押しボタンを押下するとキャッチホン信号を出力します。LINE 1 への信号はLINE 1 の端末がオフフック状態でないと回線上に出力されません。

**: パラメータの設定**

一度マニュアルモードへ切り替えさらに PMT 押しボタンを押すことによりパラメータの設定ができるようになります。

ディスプレイに「Parameter mode」と表示します。

パラメータはLINE 1 からの電話機でPB信号により行います。

- (1) まず電話機をオフフックすると「ブー」と認識音がでます。
- (2) パラメータを2桁で選択し、現在の設定値を確認した後、
- (3) 変更するデータ、最後に\*または#を入力します。データが受け付けられると「ok」の表示がでて、次のデータ受付のブーが出力され、(2)(3)を繰り返し実行することで続けて設定ができます。
- (4) '99'をダイヤルし、受話器を置くとオートモードになります。もしくは受話器を置き、AUTO/MAN 押しボタンを押すとオートモードに切替ます。
- (5) 入力されたデータが範囲を越えたなど、受付できない時は話中音出力されません。受話器を一度オンフックし、(1)からやり直して下さい。

設定できるデータとその内容、範囲を表2に示します。

パラメータ#89、90、91などの文字データを入力する時は、ダイヤル2桁で1文字を入力します。対応表を表1に示します。

**: 通信前情報通知サービスについて**

端末起動信号のオンオフの時間（デフォルトで500ms）はP#47、P#48で変更できます。タイミングの既定値はP#49からP#55で変更できます。

送出されるデータの選択はP#31とP#34からP#46で設定できます。

これらのパラメータは、

- (1) 該データを送出するか、しないか、  
0もしくは10で送出しない、それ以外は送出する。
- (2) データを固定データか、発信した時のダイヤルかの選択、  
1桁のときは固定データ（P#77からP#91）、1xのとき発信時のダイヤル。xは電文として送出する順序。
- (3) 送出する順序を1から9のグループに弁別させる。  
数字の小さい順から先に送出する。同じ順位のときは、パラメータ番号の小さい順に出力する。

が定義できます。

データそれぞれの因果関係はチェックしていません。

P#33で発信電話番号非通知理由を設定できます。0で通常通知、1でユーザ拒否（P）、2でサービス提供不可（O）、3で公衆電話発信（C）、4でサービス競合（S）となります。通常通知（0）で、発信したダイヤルの先頭が‘184’のとき非通知理由に‘P’を設定し、ユーザ拒否（1）が設定されていて、ダイヤル先頭が‘186’のときダイヤルデータを送出します。P#31が0のとき、送出するダイヤルデータはP#77を採用しますが、1のときは端末からのダイヤルデータを採用します。先頭の内線番号や184は除かれます。184や186だけのダイヤルは話中音となります。端末起動信号を送出する前に、ディスプレイに次の表示をします。

```
***,000000000000  
00
```

最初の「,」までの表示は次の意味を持ちます

- 0, 発信者番号情報送出なし (P#30が0)
- Y, 通常通知、発信者番号送出 (P#33が0)
- Y184, 通常通知で184受信なので、‘P’送出 (P#33が0)
- N, ユーザ拒否、‘P’送出 (P#33が1)
- N186, ユーザ拒否で186受信なので、発信者番号送出 (P#33が1)
- O, サービス提供不可 (P#33が2)
- C, 公衆電話発信 (P#33が3)
- S, サービス競合 (P#33が4)

その次からの0 / 1 ( 13個) は次の順序でのデータの送出を示します。0で送出なし、1で送出ありを意味します。P # 3 4 から P # 4 6 での設定内容に従います。

- 1 : 発信者番号拡張情報
- 2 : モデムダイヤルイン着番号情報
- 3 : オンネット個別着信機能、着番号情報
- 4 : オンネット個別着信機能、着番号拡張情報
- 5 : 転送元電話番号通知、転送元電話番号
- 6 : 転送元電話番号通知、転送元電話番号拡張情報
- 7 : ダイヤル番号通知、着番号情報
- 8 : ダイヤル番号通知、着番号拡張情報
- 9 : 発信企業名情報
- 10 : 発信企業名非通知理由
- 11 : メッセージ情報
- 12 : 時計情報
- 13 : 公衆電話情報

次の場合にディスプレイに状況を表示します

- 「Overed 6 s」 一次応答までに6秒以上が経過した。
- 「Less 0.6 s」 二次応答までに0.6秒以下
- 「Overed 7 s」 受信完了信号が7秒以上
- 「Less 0.3 s」 受信完了信号から二次応答まで0.3秒以下

時計情報の送出データは固定で、時刻更新の機能はありません。

拡張用のRS232コネクタを通じて、モデムからの送信データ及び応答時間の出力をしています。

故意のエラーの発生機能を備えています。P # 5 7を1にしますと、モデムからのデータをパリティ無しで出力します。P # 5 8を1にしますと、モデムからのデータのCRCを16進ffで出力します。

モデムから送出するデータを編集する過程で、全体の長さが128バイトを超える恐れのあるときはそれ以降のデータの送出をしません。文字データはパラメータモードで設定されている文字に加えて、英数字、カタカナの切替えのDLE + SOやDLE + SIが挿入されるので電文長はその分長くなります。パラメータ設定時にデータの長さを計算しながら設定してください。モデムの信号の出力レベルは固定で、変更することはできません。P#49 から P#54 の表 1.5.1 は「電話網における情報通知系サービスのインターフェイス」の中に示される表 1.5.1 を意味しています。

： 無鳴動情報通知サービスについて

「メッセージ表示受信機能」の仕様が追加されました。これに伴い、次の機能をエミュレータに追加しました。

1： 無鳴動呼出のシーケンスを実行できるようにしました。

P 3 0 を次のようにしました

0： 情報通知機能なし

1： 従前の情報通知機能を実行する。

2： 無鳴動情報通知機能を実行する。

モデムで出力するサービスコードを 16 進 4 2 とする。

二次呼出信号を出力しない。

(着側への極性反転、発信側への R B T 出力はそのまま)

2： 情報要素長が「0」のデータを出力できるようにしました。

P 3 8 (転送元電話番号)、P 4 0 (ダイヤル番号通知サービス着番号)、

P 4 4 (メッセージ情報)を次のようにしました。

0： 該データを送出しない。

x もしくは 1 x： データを送出する。

( P 3 8 では P 8 2 )、( P 4 0 では P 8 5 )、( P 4 4 では P 8 9 )

x は送出手順番号 ( 1 から 9 )。1 x の場合、発信ダイヤルを採用する。

2 x： 設定データによらず、情報内容長 = 0 でかつオクテット 3 以降のデータを送出しない。

3： P 5 6 を追加しました。

無鳴動情報通知サービスにおいて、着側端末の受信完了信号から、網 ( T L 1 2 0 0 ) が極性を復極するまでの時間を設定できます。

デフォルトで 2 0 0 m s、最大 9 9 9 m s まで設定できます。

4： メッセージ表示情報のフォーマットが変更になっていますが、これはパラメータ

P 8 9 の設定で対応できます。データは数字 1 0 桁と文字 2 3 桁まで入力できます。ただし、液晶の制限で最初の 2 6 桁のデータまでしか表示できません。

： 発信企業名（氏名）情報通知サービスの対応

- 1： 発信企業名データの送出手はP # 4 2を1から9にすることで可能です。  
この数字を変えるとデータ送出手の順番を制御することができます。
- 2： P # 8 7のデータを送出手します。
- 3： P # 8 7の漢字コードは次のように入力してください。
  - (1) 電話機ダイヤル2桁で16進データを入力します。  
00から95までの96のキーを16進20から16進7Fに割当てられています。表1-2を参照してください。  
あまりの96には20（空白）、97には0E（SO）、98には0F（SI）、99には10（DLE）を割り付けてあります。  
たとえば01をダイヤル入力すると液晶下段右端に「！」が表示されデータとしては16進21が仮のバッファに格納されます。同様に入力して行き最後に#もしくは\*で有効になりデータとして登録されます。
  - (2) 入力完了後にもう一度P # 8 7でデータを表示して確認してください。
  - (3) SO、SIコードも入力できます。このコードの前にはDLEが必要です。
  - (4) DLE、SI、SOコードもデータのサイズとして加算しています。  
全体のデータ長の制限に注意が必要です。

： 通信中情報通知サービス（キャッチホン）の信号の出力について  
信号の出力は、通話の状態ですべて「CID」スイッチを押下すると何度でも  
出力します。マニュアルモードで、「CID」を押下してもデータを出力します。  
LCDの表示で

キャッチホン	:	Y, 0000
		099988887777

「Y,」 割り込みの電話番号が通常 通知  
「P,」「O,」「C,」「S,」 非通知の理由（P#60）  
「0000」の4桁は左から  
発信者番号拡張情報を出力しているか、いないか  
企業名情報を出力しているか、いないか  
企業名非通知理由を出力しているか、いないか  
公衆電話情報を出力しているか、いないか  
をあらわします。

2行目の「099988887777」はキャッチホンの発信者番号（P#92）  
です。

発信者電話番号（P#92）、発信者電話番号拡張情報（P#93）、発信企業名（氏  
名）

（P#95）、発信企業名非通知理由（P#96）および公衆電話情報（P#97）は、  
キャッチホン機能で独立してデータをもっています。それぞれ設定や変更ができます。

信号は通話中着信表示音（IIT）を出力します。識別着信表示音（IIT2-2）  
を出力する機能はありません。また送出のタイミング値は固定で、変更する事はでき  
ません。

CAT信号（DTMF（c）（d））は変更できます（P#94）。

出力タイミングも変更できます（P#70 72）。

CATデータは文字列ですから変更する時は文字コードで入力してください。

送出のレベルを変更する事はできません。

パラメータ一覧表のP#66からP#69に示される表1.5.1は「電話網に  
おける情報通知系サービスのインターフェイス」に示される表1.5.1を意味  
しています。



**： 各部調整**

( 1 ) 回線損失アッテネータ調整      RX101

アッテネータはピアノスイッチになっており、各ビットの重みを加算した合計の値が損失となります。また本機そのもので 2 d B 程度の損失があります。

( 2 ) 液晶表示の濃度調整              VR801

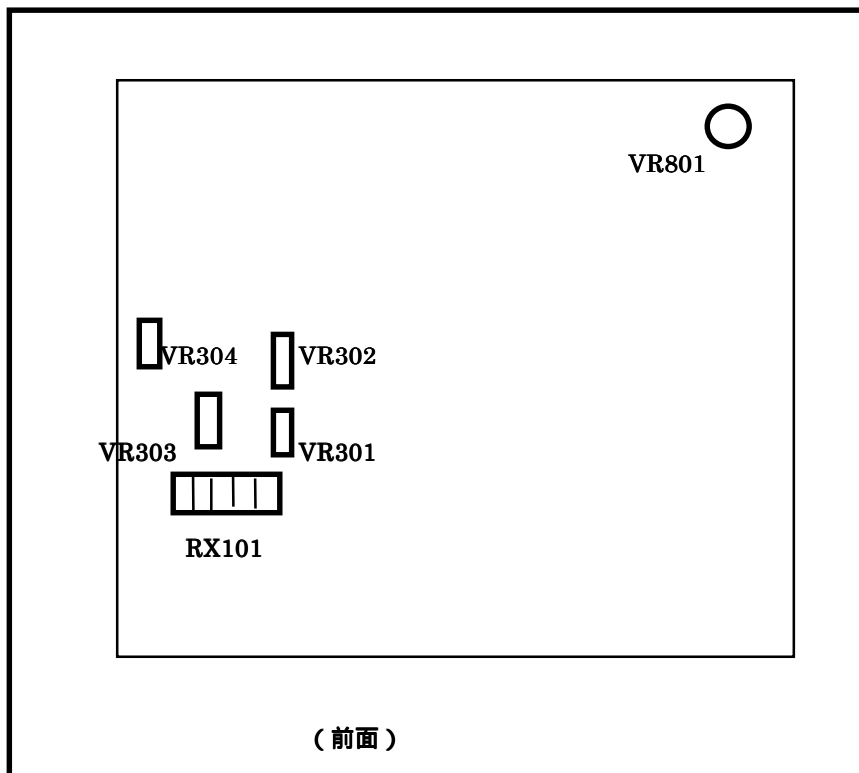
( 3 ) 信号出力の調整

(あ) D T                                  VR301

(い) B T                                  VR302

(う) R B T                                VR303

(え) E X F (外部信号)                VR304

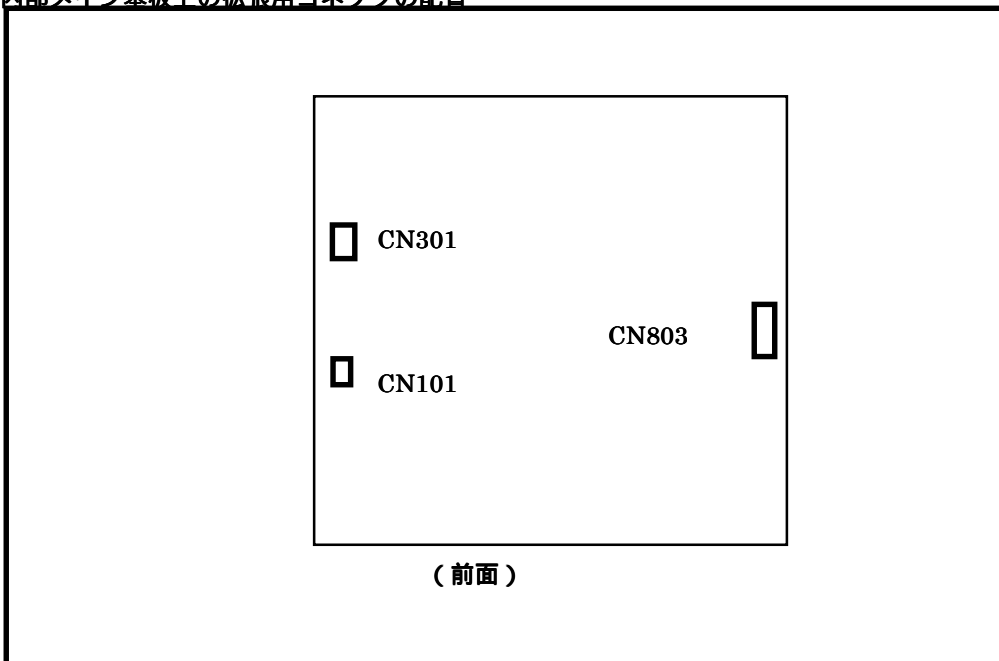




**： 拡張**

より便利にご使用していただくために拡張ができるようにしてあります。

内部メイン基板上的拡張用コネクタの配置



**1： RS232Cポート： CN803**  
9600bps、8b、Np、1s

ピン	信号号
1	グランド
2	本機へのRXD
3	本機からのTXD

**3： 信号減衰用アッテネータの外部引き出し： CN101**

ピン	信号号
1	LINE1側
2	グランド
3	LINE2側

- 4 : バッテリバックアップ : CN802  
CN802に電池ケースを接続しています。  
市販の単3乾電池を2本入れてください。

ご注意：充電電流の供給はしていません。

- 5 : 外部からの信号入力 : CN301

ピン	信号号
1	信号入力
2	グランド

ここに外部から信号を入力すれば、表面パネルのE X Fボタンを押すとその信号が回線に送出されます。ノイズ試験などにお使いください。

P26、P27でオン/オフの時間制御もできます。VR304でレベルも調整できます。

- 6 : 課金パルス出力  
準備中です

- 7 : 電源電圧115V対応

電源トランス #13に接続されている配線を#14に接続を変える事で115V入力対応になります。

：仕様及び諸元

1：回線仕様	
2線による直流電圧、直流電流及び各種信号を出力、及び端末設備からの信号受信。	
回線数	1回線（2端末接続）
回線種別	DP / PB 区別なし
解放時回線電圧	48V +/- 5V（端末の直流抵抗20Kオーム以上）
回線電流	30mA最大
特性インピーダンス	600
回線損失	2dB以下
2：信号の種類 疑似回線からの出力	
発信音（DT）	400Hz 単音（+/- 100Hz調整可能） 出荷時設定は連続出力。ユーザー設定変更可能 レベル：-20dBm（VR調整可能）
呼び出し音（RBT）	400Hzを16Hzで変調 変調率 85 +/- 10% 1秒 / 2秒 断続 レベル -20dBm（VR調整可能）
話中音（BT）	400Hz 単音 500ms / 500ms 断続。ユーザー設定変更可能 レベル -20dBm（VR調整可能）
内線発信音	400Hz 単音 250ms / 250ms 断続。ユーザー設定変更可能 レベル -20dBm
情報受信端末起動信 （CAR）	16Hz（14Hzから22Hzまで調整可能） 75Vrms以上 500ms / 500ms。ユーザー設定変更可能
呼出信号（IR）	16Hz 1秒 / 2秒 断続。ユーザー設定変更可能 75Vrms以上
課金信号	送出可能（準備中）、
応答信号、切断信号	発信側への電圧極性反転。 出力をしないように設定することも可能

<b>3 : ダイヤル受信</b>	
<b>パルスダイヤル</b>	
ルス速度	3 p p s ~ 4 0 p p s
メーク率	1 0 % 以上
ミニマムポーズ	2 5 m S 以上
マキシマムポーズ	パラメータ設定
<b>プッシュダイヤル ( D T M F )</b>	
信号オン時間	7 0 m S 以上
信号オフ時間	7 0 m S 以上
受信レベル	- 2 5 d b m 以上

<b>4 : 諸元</b>	
電源電圧	A C 1 0 0 / 1 1 5 V
消費電力	1 0 W 以下
周囲温度	常温
寸法	2 6 0 w , 2 0 0 d , 6 0 h ( m m )
重量	5 k g

表 1 文字変換コード表

1桁目の数字	2桁目の数字									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	0	ワ	ヲ	ン	、	。	6	7	8	9
1	E	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D
2	J	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I
3	O	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N
4	T	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S
5	Y	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X
6	/	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-
7		マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&		
8		ヤ	(	ユ	)	ヨ	*	#		
9	5	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4

はスペース文字

表 1 - 2 漢字コード入力のための 16 進入力変換表

ダイヤル	16 進コード	表示文字	ダイヤル	16 進コード	表示文字	ダイヤル	16 進コード	表示文字	ダイヤル	16 進コード	表示文字	ダイヤル	16 進コード	表示文字
00	20	□	20	34	4	40	48	H	60	5C	¥	80	70	p
01	21	!	21	35	5	41	49	I	61	5D	]	81	71	q
02	22	"	22	36	6	42	4A	J	62	5E	^	82	72	r
03	23	#	23	37	7	43	4B	K	63	5F	_	83	73	s
04	24	\$	24	38	8	44	4C	L	64	60	'	84	74	t
05	25	%	25	39	9	45	4D	M	65	61	a	85	75	u
06	26	&	26	3A	:	46	4E	N	66	62	b	86	76	v
07	27	'	27	3B	;	47	4F	O	67	63	c	87	77	w
08	28	(	28	3C	<	48	50	P	68	64	d	88	78	x
09	29	)	29	3D	=	49	51	Q	69	65	e	89	79	y
10	2A	*	30	3E	>	50	52	R	70	66	f	90	7A	z
11	2B	+	31	3F	?	51	53	S	71	67	g	91	7B	{
12	2C	,	32	40	@	52	54	T	72	68	h	92	7C	
13	2D	—	33	41	A	53	55	U	73	69	i	93	7D	}
14	2E	。	34	42	B	54	56	V	74	6A	j	94	7E	→
15	2F	/	35	43	C	55	57	W	75	6B	k	95	7F	←
16	30	0	36	44	D	56	58	X	76	6C	l	96	20	□
17	31	1	37	45	E	57	59	Y	77	6D	m	97	0E	千
18	32	2	38	46	F	58	5A	Z	78	6E	n	98	0F	万
19	33	3	39	47	G	59	5B	[	79	6F	o	99	10	円

注意： 97はSOコード、98はSIコード、99はDLEです。

**パラメータ一覧表**

番号	データ名	説明	桁数	最大値	最小値	基準値	単位
0 1	電源立ち上げ時にロム定数再設定	1の時、電源立ち上げ時にデフォルトのパラメータを設定する	1			1	
0 2	予備						
0 3	予備						
0 4	予備						
0 5	内線発信機能	1の時、内線発信機能	1			0	
0 6	内線番号の桁数		1	4	1	1	桁
0 7	着信番号一致比較	1の時呼出側のダイヤルと端末からの受信ダイヤルを比較し一致したとき呼出をする	1			0	
0 8	切断信号出力ありなし	1の時、終話時に発信側に切断信号を出力する	1			1	
0 9	切断信号出力時間		4	600	50	100	
1 0	極性反転（応答信号）ありなし	1の時、相手応答時に発信側の極性を反転する	1			1	
1 1	終話時にB T送出ありなし	1の時通話終了時に相手にB Tを送出する	1			1	
1 2	予備						
1 3	呼出し時間の設定	受信ダイヤルの桁間がこの時間以上で呼出を開始する	5	30000	0	2000	ms
1 4	4 0 0 H Z周波数		3	500	300	400	hz
1 5	1 6 H Z周波数		2	26	14	16	hz
1 6	発信音（D T）オン時間	0に設定すると連続出力となります	4	9999	0	0	ms
1 7	発信音（D T）オフ時間		4	9999	0	0	ms
1 8	内線発信音（P D T）オン時間	0に設定すると連続出力となります	4	9999	0	250	ms

番号	データ名	説明	桁数	最大値	最小値	基準値	単位
19	内線発信音 (PDT) オフ時間		4	9999	0	250	ms
20	呼び出し信号 (RT) オン時間	0 に設定すると連続出力となります	4	9999	0	1000	ms
21	呼び出し信号 (RT) オフ時間		4	9999	0	2000	ms
22	話中音 (BT) オン時間	0 に設定すると連続出力となります	4	9999	0	500	ms
23	話中音 (BT) オフ時間		4	9999	0	500	ms
24	呼出音 (RBT) オン時間	0 に設定すると連続出力となります	4	9999	0	1000	ms
25	呼出音 (RBT) オフ時間		4	9999	0	2000	ms
26	外部トーン信号 (EXF) オン時間	0 に設定すると連続出力となります	4	9999	0	250	ms
27	外部トーン信号 (EXF) オフ時間		4	9999	0	250	ms
28	無効						
29	無効						
30	情報通知サービス機能あり、なし	0 で情報通知サービスなし 1 でサービスあり 2 で無鳴動情報通知による通知	1	2	0	1	
31	発信者番号情報送付あり、なし	0 で情報送付なし 1 から 9 でデータ送付の順位 1x で発信時のダイヤルを送付	1	31	0	1	
32	無効						
33	発信者番号非通知理由種別	0 : 通常通知 1 : ユーザ拒否 (P) 2 : サービス提供不可 (O) 3 : 公衆電話発信 (C) 4 : サービス競合 (S)	1			0	
34	発信者番号拡張情報送付	0 で情報送付なし 1 から 9 でデータ送付の順位	1	9	0	0	



番号	データ名	説明	桁数	最大値	最小値	基準値	単位
35	モデムダイヤルイン情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位 1xで発信時のダイヤルを送出	2	19	0	0	
36	オンネット個別着信番号送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位 1xで発信時のダイヤルを送出	2	19	0	0	
37	オンネット着信番号拡張情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
38	転送元番号通知番号送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位 2xで情報内容長 = 0	1	29	0	0	
39	転送元番号着信番号拡張情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
40	ダイヤル番号通知、番号情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位 2xで情報内容長 = 0	2	29	0	0	
41	ダイヤル番号通知、拡張情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
42	発信企業名情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
43	企業名非通知理由送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
44	メッセージ情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位 2xで情報内容長 = 0	2	29	0	0	
45	時計情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
46	公衆電話情報送出	0で情報送出なし 1から9でデータ送出の順位	1	9	0	0	
47	端末起動信号(CAR)オン時間		4	9999	0	500	ms
48	端末起動信号(CAR)オフ時間		4	9999	0	500	ms
49	表1.5.1#1 0.1S		4	9999	0	100	ms

番号	データ名	説明	桁数	最大値	最小値	基準値	単位
50	表1.5.1#2 6S		4	9999	0	6000	ms
51	表1.5.1#3 0.1S		4	9999	0	300	ms
52	表1.5.1#4 7S		4	9999	0	7000	ms
53	表1.5.1#51 0.3S		4	9999	0	300	ms
54	表1.5.1#52 0.6S		4	9999	0	600	ms
55	RSオンからデータ出力までの時間		4	9999	0	100	ms
56	無鳴動情報通知サービス、極性反転保持時間	二次応答受付後、極性反転から復極までの時間	4	9999	0	200	ms
57	パリティエラーありなし	1の時モデムからのパリティをなしにする	1			0	
58	CRCエラーありなし	1の時モデムからのCRCをffに設定する	1			0	
59	キャッチホン信号出力あり、なし		1			1	
60	キャッチホン発信者番号非通知理由	0：通常通知 1：ユーザ拒否（P） 2：サービス提供不可（O） 3：公衆電話発信（C） 4：サービス競合（S）	1			0	
61	キャッチホン発信者番号送付あり、なし		1			1	
62	キャッチホン発信者番号拡張情報送付あり、なし		1			0	
63	キャッチホン企業名送付あり、なし		1			0	
64	キャッチホン企業名非通知理由送付あり、なし		1			0	
65	キャッチホン公衆電話情報送付あり、なし		1			0	
66	表1-5-1-1 時間		4	9999	0	1000	ms
67	表1-5-1-2 時間		4	9999	0	300	ms
68	表1-5-1-3 時間		4	9999	0	100	ms

番号	データ名	説明	桁数	最大値	最小値	基準値	単位
69	表1-5-1-4 時間	フッキング判定時間	4	9999	0	100	ms
70	CAT1 桁目 オン時間		4	9999	1	90	ms
71	CAT1 桁目 オフ時間		4	9999	1	55	ms
72	CAT2 桁目 オン時間		4	9999	1	90	ms
73	RTS オンからデータ送出までの時間		4	9999	0	100	ms

番号	データ名	桁数	基準値	備考
75	LINE 1 固定番号	20	1234567890	
76	LINE 2 固定番号	20	0987654321	
77	発信者番号	20	0427222510	
78	発信者番号拡張情報	3	111	
79	モデムダイヤルイン着番号情報	20	0234567891	
80	オンネット個別着番号情報	20	0345678901	
81	オンネット個別着番号情報拡張情報	3	222	
82	転送元電話番号	20	0456789012	
83	転送元電話番号通知理由	2	33	
84	転送元電話番号拡張情報	3	444	
85	ダイヤル番号通知、着番号情報	20	0567890123	
86	ダイヤル番号通知、着番号情報拡張情報	3	555	
87	発信企業名情報	24	テクノシステムK . K	漢字コード入力
88	発信企業名情報非通知理由	1	Y	文字入力
89	メッセージ情報	33	1 2 3 4 5 MESSAGE	
90	時計情報	8	12312359	1 2 月 3 1 日 2 3 時 5 9 分
91	公衆電話情報	20	KOSYUDENWA	文字入力
92	キャッチホン発信者番号	20	0999988887777	
93	キャッチホン発信者番号拡張情報	3	666	
94	CAT 第一ダイヤル、第2ダイヤル	2	C D	文字入力
95	キャッチホン企業名(氏名)情報	24	キャッチホン擬似名	漢字コード入力
96	キャッチホン企業名非通知理由	1	Y	文字入力
97	キャッチホン公衆電話情報	20	C_Kosyu	文字入力

## 製品保証

### 【1年間の無償保証】

本製品がお客様の正常なご使用状態のもとで故障した場合、御手元に本装置が到着した日から1年間は無償で故障個所の修理をいたします。

ただし、次の場合は有償修理とさせていただきます。

輸送、移動時の落下、衝撃等取扱が適正でないため生じた故障、損傷の場合  
火災、地震、水害等の天災地変及び異常電圧によるもの

お客様により、本機に改造が加えられた場合

説明書に記載された使用方法、及び注意事項にそぐわない御取扱によって生じた故障の場合

海外持ち出しの場合は保証の対象外とします。

(This warranty is valid only in Japan)

### 【有償修理】

1年間の保証期間をすぎた後の故障の場合は有償にて修理をいたします。

修理に際しましては次のことをお願いします。

本製品が製造中止となった後、5年間は修理をいたします。

その後の修理はご容赦いただきます。

修理の際の部品交換、修理工賃、運送費の実費を御負担お願いします。

本装置持ち込み修理をお願いします。

やむなく、出向く場合は出向きに要する費用を別途ご請求いたします。

### 【海外でのご使用】

海外でご使用されて、故障の場合往復の運賃の御負担をお願いします。

1年間の無償保証の対象外とします。